

# 防災サポーター参加研修・訓練報告

## 1 災害伝承10年プロジェクト

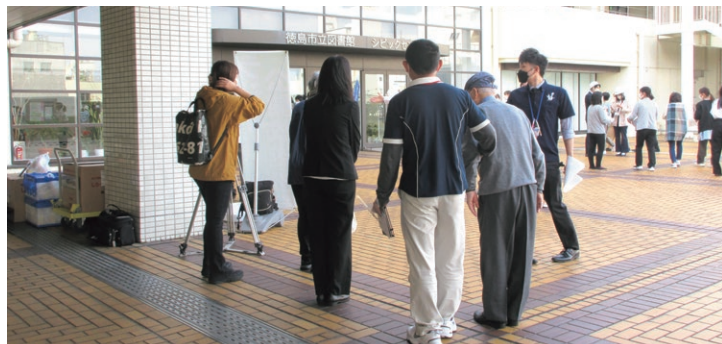
【令和4年10月2日】



岩切町内会連合会仙台市地域防災リーダー 菅野 澄枝様に東日本大震災以降の防災・減災について紹介いただき、避難所運営ワークショップを行いました。

## 2 シェイクアウト訓練

【令和4年11月4日】



地震発生時の適切な行動の習得や防災意識の向上を目的として実施しました。防災サポーターは、訓練への参加のほか、それぞれの職場や家庭で訓練を実施しました。

## 3 女性の視点を活かす防災研修会

【令和5年1月28日】



NPO法人ママプラグ アクティブ防災事業 代表 富川 万美様に講演いただき、女性の視点を活かしながら、アクティブ防災（普段の生活をしながら子どもや家族を守るこまじり）

## 4 市民防災研修会

【令和5年2月11日】

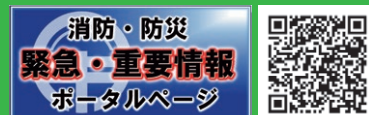


特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤様に、過去の震災での実態などを踏まえ、災害が発生する前に準備しておくことの大切さ、災害時の適切なトイレ利用等について御講演いただきました。

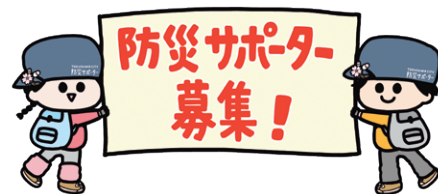
## 消防・防災 緊急・重要情報ポータルページ運用開始

避難所開設状況等、最新の緊急災害情報や防災に関する重要情報は、こちらをチェック！

WEB [https://www.city.tokushima.tokushima.jp/anzaen/shoubou\\_bousai/index.html](https://www.city.tokushima.tokushima.jp/anzaen/shoubou_bousai/index.html)



## 令和5年度 防災サポーター募集



大規模災害発生時の避難所運営支援など、地域の防災リーダーとしてご活躍いただく徳島市防災サポーターの登録希望者を、防災士の資格をお持ちの人を対象に募集します。

すべての市民が安全・安心に暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進するため、徳島市防災サポーターへの登録にご協力をお願いします。

【対象】 県内在住の防災士資格保有者  
※多様性に配慮した防災対策を推進するため、性別や年齢などに関わらず幅広く募集します。

【定員】 15人 ※応募者多数の場合、審査・選考を実施。

【活動内容】 ①大規模災害発生時における避難所などでの活動  
②防災訓練、研修の受講や市民に対する防災指導  
③平常時におけるSNSなどを活用した防災情報の発信

### 申し込み方法

「防災サポーター登録希望」と明記し、郵送、ファクスまたはメールで下記の内容を記載して申込み

住所、在勤・在学地、名前、生年月日、電話番号、メールアドレス、防災士証（カード）または認証状の写し及び、防災情報の発信に活用できる特技・資格、防災サポーターになるにあたっての意気込み(50字以上)

### 募集期間

令和5年6月15日(木)～令和5年7月5日(水)

徳島市防災対策課 〒770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地（本館7階） 電話番号：088-621-5527 ファクス：088-625-2820  
メールアドレス：bousai\_taisaku@city-tokushima.i-tokushima.jp

創刊号

2023年  
3月号

徳島市

# 防災サポーター通信

Tokushima City Bousai Supporter News Letter



## 徳島市防災サポーター制度発足！15人をサポーターに任命！

### 徳島市防災サポーターとは

すべての市民が安全・安心に暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進するため、大規模災害発生時の避難所運営支援など、地域の防災リーダーとしてご活躍いただく、防災士の資格をお持ちの方のうち徳島市が任命させていただいた方々です。



### 活動内容

#### 1 大規模災害発生時における避難所等での活動

→大規模な地震及び津波が発生した際の津波緊急避難場所への誘導、避難所の開設準備、避難所開設後の避難者の受け入れや問い合わせへの対応等を指揮するリーダー及び相談役を担います。

#### 2 防災訓練、研修の受講や市民に対する防災指導

→徳島市主催の訓練や研修への参加による災害対応力の向上を図り、市民参加型の訓練において、市民の皆さまへの参加の呼びかけや、徳島市職員と一緒に指導する立場として参加します。

#### 3 平常時におけるSNSなどを活用した防災情報の発信

→Instagramでの広報や広報誌の発行のほか、各個人SNS等での防災イベント、訓練の周知等の情報発信を行います。







徳島市両国本町商店街の  
安心・安全マップづくり！



今回は、徳島市両国本町商店街 制作「みんなの安心・安全マップづくり」を紹介。このマップは今年2月に完成。一般的な防災マップと異なる視点を持つマップとして、各メディアでも取り上げられました。

商店街 理事長 新居さんに「一緒に防災の取り組みをできないか？」とお誘いいただいたのは昨春。新居さんを中心に、市防災対策課との協働事業として、「街の防災力向上を目指したマップづくり」を立案しました。商店街のみんなと一緒に防災を考え学び実際に行動することで、災害と向き合う気持ちや商店街としての防災力も高めたい！との思いが込められた企画でした。

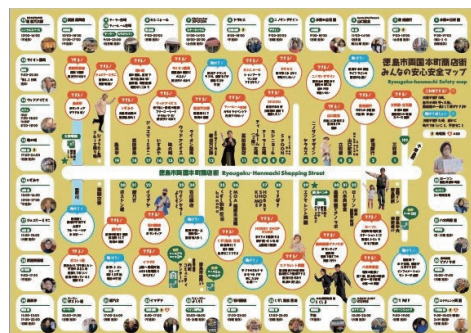
目指したのは、商店街に関わる全ての方に、安心・安全を届けられるマップ。3回の街歩きと3回のワークショップを行い、各店舗の方々にお店の基本情報や発災時想定している自らの行動、「商店街の一員としてできること」「助けて欲しいこと」を聞き取りました。普段から商店街の一員としての交流はあれど、防災のことを話す機会はほとんどなかったという皆さん。防災士や子どもたちが聞き手となることで、改めて考え、言葉にしてくださった瞬間もあった

ように感じました。

マップに掲載したのは、各店舗情報と発災時「できること」「不安なこと」。そして、各店舗への聞き取りで見た「知りたい」を満たすための情報や、「不安」を少しでも解消するための防災豆知識です。あたたかい想いの詰まったついに取りたくなる「安心・安全マップ」が完成しました。

災害発生の瞬間、自分の命は自分でしか守ることはできません。しかし、そばにいる人達が助け合うこともとても大切なことです。ぜひこの「みんなの安心・安全マップ」を手にとりいただき、自分の家族や暮らす街に照らし合わせていただくと嬉しいです。

マップに関するお問い合わせは徳島市両国本町商店街 ウッドアイビス (088-652-8048) までお願いします。



▲完成した「みんなの安心安全マップ」



常に心も、燃料も満タンに！



過去の大規模災害発生時には、車の燃料確保が大渋滞が度々発生している報道を聞き課題であると思います。

私は、平時から自身の車は勿論、家族や職場でも車の燃料がだいたい半分前くらいになったら給油をして「燃料の満タン」を心掛けていますし、実際に燃料を満タンにしています。

車の活用は、カーラジオが搭載されており、災害時情報や避難所開設情報等を素早く把握し易いし、連絡を取り合う携帯の充電も出来、車内のエアコン活用で夏場・冬場の季節に応じた快適な空間の確保にも役立ちます。

また、感染症対策でも「分散避難」の観点で役立つと同時に車中泊する事で3密を避けられます。是非、皆さん「パーソナル防災拠点」にもなりうる車による避難の有効性を活用する為にも、常に心も、燃料も満タンにしましょう！（ただし、渋滞や事故の発生、緊急車両の通行の妨げになるため、地震、津波発生時は、車による避難は控え、基本は徒歩で避難をしましょう。）

みんなで、防災スイッチONしましょう！

四国防災・危機管理プログラム 実務実習について



11/5(日) 四国防災・危機管理プログラムの一環として行われている、防災・危

機管理実習の「BCP訓練」と「統括DIG訓練」に参加してきました。

「BCP訓練」は、就業時間中に地震が起こった時の対応を時間経過と共に発生する様々な課題に対応しつつ、被災状況を社長報告するまでの訓練を行いました。

「統括DIG訓練」は、災害時初動対応（概ね発災24時間まで）の避難所運営訓練を①住民組織（総務情報担当、施設管理担当、物資食料担当、保健衛生担当）②市職員（避難所運営班）③施設管理者（管理者や職員）④市災害対策本部に班分けして模擬運営を行いました。

参加して感じたのは訓練の大切さです。訓練を通じて失敗や出来なかったことに気付くことが最も大切なことだと思いました。

災害時には、瞬時に判断しなければならないことが多くあります。そのためにも訓練に参加し、知識や知恵を増やして想像力を高めていくことが必要だと思いました。

児童・乳幼児親子に向けて、楽しく学ぶ防災活動



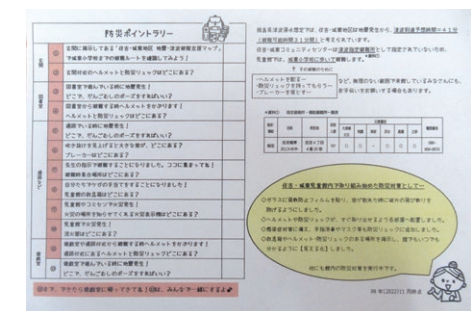
『児童館』という場所をご存じですか？児童館は、子どもが遊びを通して健やかな身体を育むことを目的に設置されている施設です。私の勤務している徳島市立住吉・城東児童館では、災害時に命を守るための防災対策に取り組んでいます。

秋には乳幼児の親子を対象に「防災ポイントラリー」というイベントを行いました。

「児童館に遊びに来ている時に、地震が起きたらどんな行動を取るの？」をテーマに、館内のいくつかの箇所を巡りながら、避難行動の方法を学び、ポイントのシールを集めて楽しみました。参加し

てくださった皆さんから、「家庭や外出先でも役に立ちそう。」とのお声を頂きました。児童に向けてのイベントも計画中です。

これからも児童館らしく、楽しく、役に立つ知識を学んでもらえるような、防災活動に取り組んでいきたいです。

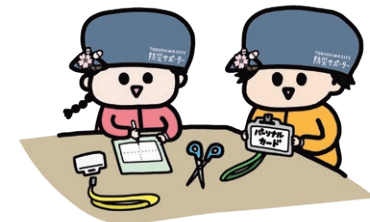


気象×防災コラム



自然災害といえば「地震」や「津波」を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、大雨による「洪水」や「土砂崩れ」など、天気にかかわる災害も挙げられます。特に近年では地球温暖化などの影響により、日本各地でこれまでに経験したことのないような集中豪雨が頻繁に発生している、今後も更に災害へのリスクが高まると予測されています。

いつ、どこで起こるか分からない自然災害に対して、日ごろからの備えをなさして下さい。災害とは容赦なく瞬にして貴重な財産や尊い命を奪っていきます。自然豊かな魅力ある徳島を、大切な家族や身近な人の命を災害から守りましょう！



三年ぶりに「夜の津波避難訓練」を実施



私の所属する津田新浜地区自主防災会連絡協議会では、シェイクアウト訓練におけるプラスワン訓練として、「夜の津波避難訓練」を行いました。

津田新浜地区の避難訓練は新型コロナウイルス感染症の流行をうけ中止が続いていましたが、今年度は三年ぶりに、密を避けるために11月5日・津田小学校、11月26日・津田山南津波緊急避難場所、12月3日・マルナカ徳島店三階の三日程に分けて実施しました。訓練にはベビーカーに乗った小さなお子さんから学生、おじいちゃんおばあちゃんまで幅広い世代から合計667名が集まり、避難経路・避難場所の確認や防災ビデオの鑑賞、津田小学校では貯水槽の説明を聞くなど、いざというときに迅速・安全に避難できるよう確認をしました。

コロナ禍で防災意識の低下が危惧される中での開催でありましたが、夜間の訓練にも関わらずたくさんの方にご参加をいただき、非常に心強く思います。

これからも地域の防災意識の向上に努めていきたいと思っています。

